

第536回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成20年12月16日(火) 午前11時

2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール

3. 委員の出席

委員数	11名
出席委員	9名
出席委員の氏名	
委員長	田代 高章
副委員長	宮澤 徳雄
委員	大村友貴美 熊谷志衣子
	小松 務 澤口たまみ
	杉本 博 田辺 博
	矢佐 俊幸
欠席委員の氏名	河村 泰信 工藤 和彦

会社側出席

阿部 正樹	代表取締役社長
川島 敬司	専務取締役
熊谷 鉄郎	取締役テレビ編成局長
川上 隆	取締役ラジオセンター長
神 初見	報道局長
角掛 勝志	制作部ディレクター

事務局

馬場由紀子	番組審議会事務局長
小笠原 勉	事務局

4. 議 題 IBC特集「北限のメダカ米をつくれ
～環境保全と農業の新しいカタチ～」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ・絶滅の恐れがあるメダカを守りながら、安全な米を作ろうとする取り組みを番組にしたことは、食の安全が社会問題となっている時だけに評価できる。
- ・学生と地元のおばあちゃんや子供たちの、メダカをとおした心温まる交流が印象的だった。
- ・農家は生産コストの上昇など過去に例のないような状況にある。そんな中、こうしたエコへの取り組みが意外にスムーズにできたものだと感じた。地域住民の協力にも感心した。
- ・メダカをとおしてきれいな水がいかに大事か、安全・安心の農作物としてお米にも価値が出るという視点で訴えたのは良かった。
- ・農業の形が変りつつあることを、現場のレポート、実際の映像をとおして見られたのはとても良かった。
- ・メダカの北限や生態系は知らなかったが、学生と地域住民との交流など総体的に温かみのあるアットホームな番組で、農家の人にとっても元気が出る番組だったという印象を持った。
- ・「メダカ米」というネーミングが一般の消費者に受け入れられるのかどうか。全国的にも例があるというが、由来など簡単に紹介すると良かった。
- ・こうした取り組みはまだ始まったばかり、今後どのように広げていくかが重要だ。
- ・メダカと米作りという視聴者にとってわかりにくいテーマだと思う。私にとっては、ふるさとの小川や田んぼでメダカを捕っていた頃を思い出させてくれる番組でした。
- ・メダカ米は価格の面ではどうだったのか。流通面の話も紹介してもらえれば良かった。